



しあわせ信州



長野県(木曽地域振興局)プレスリリース 令和3年(2021年)12月22日

令和3年 木曽地域 県政おもなできごと

令和3年中の木曽地域における『県政おもなできごと』を、次のとおり取りまとめました。

【通年】

☆新型コロナウイルス感染症への対応

昨年から世界中で感染拡大が続いている新型コロナウイルス感染症。木曽地域においても、引き続き感染拡大防止や事業者への支援などに取り組みました。

木曽保健福祉事務所では、24時間対応の電話相談や感染者判明時の迅速な積極的疫学調査等を実施し、感染拡大防止に努めてきました。

木曽地域振興局では、感染拡大第4波到来中の4月中旬、感染防止対策の徹底などを依頼するため「信州の安心なお店応援隊」を結成し、木曽町及び木曽町商工会と合同で木曽町福島地区の飲食店を巡回訪問。第5波到来中の8月中旬には、道の駅木曽福島などにおいて、来県者に対して感染防止対策の徹底をお願いする街頭啓発を行いました。

ワクチン接種については、住民の皆さまの御理解・御協力と、町村や医療関係者の皆さまの献身的な取組により、多くの方々に初回接種（1回目、2回目）をしていただきました。

県では、町村連絡会議を開催して情報共有や課題整理等を行い、関係機関の連携を強化することで町村の接種を支援しました。

3回目の接種についても、円滑な実施に向けて、引き続き町村の支援を行ってまいりますので、皆さまの御理解と御協力をお願いいたします。

第5波が落ち着いた10月以降は、コロナ禍で冷え込んだ経済の活性化に向けた取組も始めています。

11月3日には上松駅周辺ふれあい広場において、テイ
クアウトイベント「Yum!Yum!CARAVAN in 上松」を
開催して、売上減少等の影響を受けている飲食事業者を
支援し、11月15日からは中京圏の皆さまに木曽をより身
近に感じてもらうため、名古屋市中区栄の地下街『サカ
エチカ』で木曽観光連盟と合同で木曽の特産品やアクテ
ィビティの情報などを展示し、魅力を発信しています
(一部期間を除き3月27日まで実施予定)。



木曽地域振興局では、「産業・雇用 総合サポートセンター」を昨年設置し、新型

コロナの影響を受けている全ての事業者が必要な支援を受けられるよう、国・県の経営・雇用支援策の紹介等、各種相談に対応しています。

また、木曾保健福祉事務所では、木曾生活就労支援センター（まいさぽ木曾）等と連携し、年間を通じて生活困窮者に係る相談支援を実施しています。

県民の皆さまには、引き続き感染を防止するための行動を実践していただきますとともに、感染が落ち着いている時期には、経済活性化にもご協力をお願いいたします。

☆御嶽山ビジターセンター整備進む

平成26年9月の御嶽山噴火災害を受けて設置されるこの施設は、令和4年度の開館に向け、王滝村田の原地区において『御嶽山ビジターセンター（山エリア）』の整備が進んでいます。



木曾町が建設する『御嶽山ビジターセンター（里エリア）』と併せ、火山に関する情報発信などの火山防災の拠点として、また、噴火災害を後世に引き継ぐ施設として期待されています。

☆2回の国政選挙を実施

4月に参議院議員長野県区補欠選挙、10月に衆議院議員総選挙が実施されました。国政選挙が年に2回実施されたのは、昭和61年以来35年ぶりのことです。

【3月】

☆姥神峠道路（延伸）の新規事業化が決定

平成24年度から一時休止となっていた、地域高規格道路「伊那木曾連絡道路『姥神峠道路（延伸）』」について、近年の国道361号の利用状況や豪雨災害の状況などから必要性が認められ、新規事業化が決定しました。

令和3年度は、現地の測量や設計等を精力的に進めており、引き続き一日も早い完成を目指します。



【4月】

☆木曾地域公共交通活性化協議会を設立

住民生活の基盤となる地域公共交通を維持するため、町村、交通事業等と協働して『木曾地域公共交通活性化協議会』を立ち上げ、木曾地域の公共交通のあり方について検討を始めました。

財源の確保や路線など、様々な課題についてデータに基づく分析を行っていくため、令和3年は、広く地域の実情を把握するための住民アンケート等を実施しました。

☆中央西線に架かる農道橋の補強工事に着手

南木曾町のJRを跨ぐ上越野・下切の農道橋について、耐震性を確保するため、総事業費2億7400万円の補強工事に着手しました。農道橋の安全を確保するため、令和7年度の完了を目指して工事を進めてまいります。



【5月】

☆シニア大学入学式

新型コロナウイルス感染拡大の影響で休校していたシニア大学が2年ぶりに再開し、11名が入学しました。また、令和元年度の入学生も1年の休校を経て2年生に進級しました。

各学年で、木曽の歴史等の教養講座や書道・盆栽等の実技・選択講座など、幅広く学びを深めています。



【6月】

☆大平ため池で流域治水対策始まる

頻繁化・激甚化する水害に、国や県、市町村、民間事業者、県民など流域関係者が協働して対応するための「長野県流域治水推進計画」に基づく取組が始まりました。

木曽地域では、木祖村の『大平ため池』において、大雨前に水位を下げて貯水量の空き容量を確保する流域治水対策を始めました。



【6月～7月】

☆高校生等の木曽地域での就業を支援

将来、地域の産業を担う子どもたちに、木曽地域の企業や木曽で働くことに関心を持ってもらうため、6月3日に蘇南高校、7月30日に木曽青峰高校を会場に高校生向け企業説明会を開催しました。

また、7月には、昨年に引き続き木曽地域の約50社の企業情報を集めた『企業ガイドブック』を作成し、中高校生等に配布しました。

【8月】

☆甚大な豪雨被害が発生

木曽地域の多くの雨量観測地点で、48時間降水量や72時間降水量が観測史上1位を記録するなど、8月13日から15日まで記録的な大雨となりました。各町村では避難所を開設し、避難指示等を発令。多くの方々が避難しました。

県では、県災害対策本部木曽地方部を立ち上げ、被害情報の収集や町村役場への人的支援を行いました。

木曽町上町地区の木曽川沿いの住宅が甚大な被害を受けたほか、3町村62戸が床下浸水しました。また、道路、河川、農業用施設、治山・林道施設など約400箇所が被災し、被害額は75億円余りとなり、上松町、木曽町、王滝村の3町村が災害救助法の適用を受ける事態となりました。

被災された皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。被災箇所の早期復旧に向け、国庫補助事業等を活用した災害復旧工事を進めてまいります。



【8月～9月】

☆起業塾を開催

地域の課題解決や活性化につながる起業を支援するため、木曽地域で起業を考えている女性・若者を対象に8月から9月まで起業塾（全3回）を開催しました。

これに併せて、より多くの方に起業に関心を持っていただくため、初めて木曽町図書館と連携して起業関連図書を集めた展示を実施しました。



☆クマによる人身被害が発生

8月から9月にかけて、クマによる人身被害が木曽地域で3件発生しました。

このため、インターネットや町村の広報に加え、関係機関の協力で「クマに出会わないための広報番組」をケーブルテレビで放送し、住民の皆さまに注意喚起を行いました。



【10月】

☆「高校生の“食”支援講座」を開催

生涯にわたる健康づくりのための知識の普及と、地域の食文化への関心を高めることを目的に、蘇南高校の2、3年生を対象に講座を開催しました。

講座は、健康づくり編と郷土料理編の2コース。講義と合わせて実施した調理実習は、食生活改善推進協議会木曽支部に協力をいただきました。

食育を進めるため、今後も高校の理解を得ながら継続して開催してまいります。



【11～12月】

☆「木曽牛給食の日」で地域の食材をPR

木曽牛をはじめとした地域の農産物についての理解を促進し、消費を拡大するため、小・中・養護学校（18校）でメンチカツやハンバーグ等の木曽牛オリジナルメニューを提供する『木曽牛給食の日』を実施しました。

「木曽牛ハンバーグおいしい」、「また木曽牛を食べたい」等の感想が寄せられました。



木曽地域振興局 総務管理・環境課
（課長）永岡 勝（担当）児玉 真二
電話 0264-25-2211（直通）
F A X 0264-23-2583
E-mail kisochi-somu@pref.nagano.lg.jp

木曽保健福祉事務所 総務課
（課長）平林 宏規（担当）太田 愛
電話 0264-25-2231（直通）
F A X 0264-24-2276
E-mail kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp

信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

木曽建設事務所 総務課
（課長）太田 晃生（担当）木下 泰一
電話 0264-25-2237（直通）
F A X 0264-22-4028
E-mail kisoken-somu@pref.nagano.lg.jp